

令和5年 栃木県内における死亡労働災害発生状況

令和5年確定値

栃木労働局

番号	発生月 時間帯	事故の型 起因物	業種 事業場規模	災害の概要
1	1月	墜落・転落	ゴム製品製造業	被災者は、製品倉庫2階の高さ5mの荷受口から地上に転落し、死亡したものの。
	11～12時	建築物、構築物	1～10人	
2	3月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、大型トラックを運転中、割り込んできた乗用車が突然スピンし中央分離帯に乗り上げたため、救助しようとトラックから降りて反対車線にいたところ、道路反対側から走行してきた乗用車にはねられ、死亡したものの。
	21～22時	乗用車	21～30人	
3	3月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、新車を納車するため、キャリアカー（新車運搬用トラック）から降りて、新車を下す際、後方から来た乗用車がキャリアカーの荷台に突っ込んできて、荷台にいた被災者にぶつかり、死亡したものの。
	0～1時	トラック	41～50人	
4	3月	飛来、落下	陸上貨物運送業	被災者は、資材置場において、パレットに乗せた重さ650kgのペレットが入ったフレコンバッグをフォークリフトでコンテナへ運ぶ際、コンテナの扉付近でフォークリフトが動けなくなったため、フォークリフトを降りて扉を開けようとしたところ、パレットが崩れ、落下したフレコンバッグに当たり、死亡したものの。
	15時～16時	荷	31～40人	
5	3月	転倒	病院	被災者は、敷地内の通路を歩行中、転倒し、死亡したものの。
	8時～9時	通路	51人～60人	
6	4月	飛来、落下	陸上貨物運送業	被災者は、トラックの荷台に300kgのポンプを積んだ後、1,500kgのタンクを積み込んだところ、車体が傾き、ポンプが荷台から落下しそうになったため、手で押さえようとしたが、抑えきれずポンプの下敷きとなり、死亡したものの。
	9時～10時	トラック	10～20人	
7	6月	交通事故	新聞販売業	被災者は、バイクを運転中、トラックと正面衝突し、死亡したものの。
	4時～5時	バイク	31～40人	
8	6月	墜落・転落	土木工事業	被災者は、地山の開口部端から、2.5メートル下の掘削床に転落し重体となり入院していたところ、約8か月後に合併症等により、死亡したものの。
	15時～16時	開口部	1～10人	
9	6月	挟まれ、巻き込まれ	土石製品製造業	被災者は、床に設置されたコンベアの運転を停止させずに、棒で付着した土石を掻き落としていたところ、下半身を巻き込まれ、死亡したものの。
	8時～9時	コンベア	31～40人	
10	7月	熱中症	小売業	被災者は、店舗内で商品の仕込み中に体調を崩し、熱中症により死亡したものの。当日の気温は、32℃であった。
	14時～15時	暑熱環境	1～10人	
11	8月	崩壊・倒壊	輸送用機械器具製造業	被災者は、フォークリフトでかご台車を運ぶ準備をしていたところ、かご台車が崩れて下敷きとなり、死亡したものの。
	10時～11時	かご台車	51～60人	
12	8月	墜落・転落	その他の事業	被災者は、サイロ上に設置されたベルトコンベアを清掃していたところ、高さ5メートルの梁から転落し、死亡したものの。
	14時～15時	梁	1～10人	
13	9月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、トレーラを運転中、対向車線にはみ出し、大型トラックと正面衝突し、死亡したものの。
	1時～2時	トラック	1～10人	
14	9月	転倒	その他の事業	被災者は、作業場の床に倒れているところを発見され、病院に救急搬送されたが、約2か月後に死亡したものの。
	17時～18時	作業床	41～50人	
15	10月	崩壊・倒壊	陸上貨物取扱業	被災者は、倉庫内に積まれた約750kgのフレコンバッグが荷崩れを起こし、落下したフレコンバッグの下敷きとなって、死亡したものの。
	10時～11時	荷	11～20人	
16	11月	崩壊・倒壊	食料品製造業	被災者は、据え付けるための機械装置を運搬中、台車を引き抜こうとした際に、機械装置が倒れ、その下敷きとなって、死亡したものの。
	15時～16時	荷（機械装置）	11～20人	
17	11月	挟まれ、巻き込まれ	金属製品製造業	被災者は、金属結束機を点検中、機械のアームが下降し、アームに頭を挟まれ、死亡したものの。
	8時～9時	動力機械	120～130人	
18	11月	転倒	土木工事業	被災者は、削孔機を操作して移動中、削孔機が横転し、下敷きとなり、死亡したものの。
	10時～11時	建設機械	1～10人	
19	12月	交通事故	旅客運送業	被災者は、道路を横断中に、バスに轢かれて死亡したものの。
	19時～20時	バス	1～10人	

